“FPGAマイコン”を効果的に使う

低コストFPGAとソフト・マクロのCPUを使ったシステム開発

FPGAの高集積化が進み，一つのFPGAであっても多くの機能を処理することが求められるようになりました．そのため，FPGA向けに無償，あるいは低価格で提供されるCPUコアや，それらの開発環境も充実してきています．LSIは，すべてハード・ワイヤードで設計すればよいというものではありません．ソフトウェア的な処理のほうが効率的な場合には，CPUコアを活用すべきです．本特集では，低コストFPGAファミリで利用できるソフト・マクロのCPUコアに注目し，その効果的な活用法を解説します．